

令和5年度 第2回平田地域協議会会議録（要約）

日時	令和5年6月29日（木）午後1時30分～午後4時15分				
場所	ひらた生涯学習センター 研修室				
出席委員	15名				
	1号委員	長堀 恵理	田中井広志	佐藤 芳紀	小野寺孝延
		佐藤 恭子	前田 恵次	佐藤 善仁	今井さち子
		丸山 清	枝 春男	加藤佐和子	
	2号委員	石黒 由香	佐藤 正一	須田 祐司	久松 由華
欠席委員	なし				
酒田市出席者	酒田市企画調整課企画調整主査（出前講座）		信夫 一春		
	平田総合支所長		佐藤まゆみ		
	平田総合支所長補佐兼建設係長		佐々木 豪		
	平田総合支所長補佐兼地域振興係長		高橋 美津		
	平田総合支所地域振興主査		阿部 光正		
傍聴者	なし				
議事日程	1. 開 会				
	2. あいさつ				
	3. 会議録署名委員の選任				
	4. 報告				
	（1）地域協議会合同開催について				
	5. 協議				
	（1）出前講座「みんなの総合計画」				
	（2）地域振興について（意見交換）				
	（3）その他				
	6. その他				
	7. 閉 会				

【協議会の概要】

出前講座による「みんなの総合計画」を視聴後に「平田地域の地域振興とは？」をテーマにした意見交換がワークショップ形式にて行われた。意見交換にて出された内容を基に、次回に繋ぐことにした。

【会議録（要約）】

1. 開会

- ▶事務局より開会と委員全員出席の報告

2. あいさつ

- ▶石黒由香会長挨拶
- ▶佐藤支所長挨拶

3. 会議録署名委員の選任

- ▶会議録署名委員はこれまでどおり名簿の順番に指名することとし、田中井広志委員を指名した。

4. 報告

（1）地域協議会合同開催について

- ▶石黒由香会長が説明後に佐藤支所長が補足説明

5. 協議

（1）出前講座「みんなの総合計画」

- ▶企画調整課信夫企画調整主査が資料を基に説明

○小野寺孝延委員

基本構想2のめざすまちの姿の実現に向けた目標設定の、2027年度の数値目標について、人口が緩やかに下がって減少していくのに対して市民所得が上がるとあるが、どのように上げさせていくのか。

○信夫企画調整主査

市民所得には企業等の経営所得もある。人口が減っているから給与を上げるのではなく、企業の賃上等で上げていくもの等総合的なものと考えていただきたい。

○小野寺孝延委員

「4. 政策」にある「産業競争力が高いまち」の産業競争力とはどんな分野でどんな形の競争力になるのか。

○信夫企画調整主査

これを実現するための今後の方向性として、後期計画において再生可能エネルギーの利用促進という計画を立てている。具体的には洋上風力発電や酒田港で取り組んでいるカーボンニュートラルポート形成等を見据えていき、県と連携して関連産業の集積を促進して再生可能エネルギー循環都市を目指していくということ。この部分がいわゆる競争力をつけていくということ。もう一つは国や県に対して引き続き酒田港の機能強化を働きかけていくことや、県と連携して酒田港の利用拡大を図って本市の港湾関連企業及び地域経済に波及効果をもたらすということである。もう一つは現在共同火力発電所があるが、国等に対して発電所の休廃止による地域への影響に十分配慮するように働きかけるということで、まずは競争力をつけていくということである。

○小野寺孝延委員

それでは、エネルギー関連ということよろしいか。

○信夫企画調整主査

そうである。まずは、再生可能エネルギーという形での計画となっている。

○小野寺孝延委員

一部については相前からこういった話はあったが、やるのであればきちんとやって頂きたい。

○佐藤正一委員

「4. 政策の第2章政策5の100年続く森林（もり）を造り、活かすまち」で、私が知る限り林業の業者が平田には無くて八幡に2社あるというのは知っているが、なかなか2社では太刀打ちできないほどの森林に今、切り時の木がいっぱいあると思う。業者を増やすとか応援体制

について、もう進めているのかそれともまだ先の話だから分からないということなのか。

○信夫企画調整主査

具体的な内容になると所管課の農林水産課になるため、詳しくはお話し出来ないが、計画では林業を担う人材の確保・育成について施策として立てており、成果指標として、新規林業就業者数を5年間で15人増やすという目標を立てている。この15人には林業の会社に勤めるという部分も含めての15人と思うが、まずは人手を増やして対応していくという目標を立てており、徐々にやっていく形になっていくと思われる。

○佐藤正一委員

去年あたりにアイアイひらた周辺の山の木の伐採を業者がやっているのを見て、こういった企業が増えてくれればいいと思った。新しい機械で木を掴んで4m、2mごとに切断して運んでいく、あんな機械があればやってみたくて興味が沸いた。こういった会社をもっと他にもできればいいと思った。地方でもやってみたくてという人がいたら応援すべきだと思う。

○小野寺孝延委員

この100年続く森林（もり）を造り、活かすまちについて、県の事業に育成という事で参加したことがある。チェーンソーや仮払い機の扱い方や資格取得を含めて3か月ほどだったと思うが参加した。その時には県内から数十人いて、各事業に携わられているようだったが、その会社を辞める頃になかなか進んでいなかったのが現状だった。私は推進していいことだと思うが、先ほど佐藤正一委員がお話されたように興味を持っている方を掘り起こせば結構いるのではないかと思う。産業は別としてそのために宣伝をかけてそういった方を集める方法を考えれば、結構いい感じで行くのではないかと思った。こちらは山間部が多いので安心して山に入れるのではないかと。熊等は別として林道その他の整備をきちんとやれば結構いい財産になるのではないかと思う。

また、「2. 基本構想（めざすまちの姿の実現に向けた目標設定）」で③酒田市に住み続けたいと思う市民の割合が示されているが、年代別の割合も出して頂けると良かった。

(2) 地域振興について（意見交換）

▶高橋支所長補佐が資料1-1～2-2と意見交換の進め方について説明したあと、出席委員が2班に分かれて意見交換を行った。各班で出された概要を最後に発表し、次回の地域協議会でさらに協議することとした。

(3) その他

■参考資料1（里山トレイルランについて）

▶佐藤正一委員が資料を基に説明

○小野寺孝延委員

このトレイルランには興味があり、是非成功させていただきたいと思うが海外事例で死亡者が何人か出ている。国内では死亡事例は確認していないが、遭難者が出ている。だからと言ってやめて欲しい訳ではなくて、これを基にして安全対策をしっかりと、ぜひ成功させるような形で運営して頂ければ本当に良い企画になると思う。ぜひよろしく願いたい。

■参考資料2（たばこ税）

▶高橋支所長補佐が資料を基に説明

○小野寺孝延委員

酒田市で新たに新店しようとする「禁煙」という条件のため、出店できないという事例が3～4件ある。せっかく酒田にお店を出したいという方が微力ながらもたばこの税収に協力しているはずなのにやめたという事例もある。たばこ税収が減っているのは、そういったことも影響しているのではないかと。これも記憶の片隅に置いておいていただきたい。

6. その他

○加藤佐和子委員

防災無線が各家庭にあるが全く聞こえない。屋外スピーカーからのみ放送が流れるが、何を言っているのか分からない。今後どのようにしていったらいいのか伺いたい。

○佐藤支所長

令和3年度に導入した防災ラジオの事だと思うが、屋外で試験放送を流しているときもご自宅のほうには入らないということであれば、電波の状況が良くないのだと思う。今年度、北俣と中野俣と総合支所のほうの3個所に中継局を増設する予定である。しかし、増設をして電波状況が良くなって解消されるのかどうかは不明である。また、年度内いっぱいかかるのかも見通せず来年度以降にもかかってしまうのではないかとこの事ようだ。二階の窓の近くに置いてみたりして変えてみるのももしかしたら入ることもあるとのことだった。しばらく様子を見てほしい。災害等の緊急放送が無ければ放送は入らない。この増設のお話は自治会長会でも各自治会長に説明済である。

○佐藤正一委員

先ほどお話あったデマンドタクシーのことだが、以前詳しくお話を聞いたつもりだったが、内容を忘れてしまっていることもあると思うので、もう一度ざっくり説明していただきたい。

○佐藤支所長

平田地域で限定してお話すると、まずは登録をして頂く必要がある。行き先については酒田は日本海病院や中町など12、13か所あったと思うが、その降りる場所を指定して頂くと、ご自宅までお迎えに行きワンコインで乗れる。免許証を返納された方や障害者手帳をお持ちの方は100円引きの400円で乗れる。帰りの時間は乗る予約をするときに事前予約をして、乗った時にも帰りの乗り場や時間を伝える必要がある。片道500円でご自宅まで乗って帰れる。支所管内の乗り降りの場合は、総合支所、大町溝前、ツルハ近くの東部中学校付近、砂越駅の4箇所に300円でご自宅から乗って来れる。行きと帰りの場所は違っていいが、乗る時間は1時間前までに連絡をしないとキャンセル料がかかる。タクシー料金よりは格安で乗れる。少し改訂になったチラシが、7月1日号市広報と一緒に全戸配布される。特に時間帯や金額が変わった訳ではないが、見比べると微妙に書きぶりが変わっているので、参考にしてほしい。あとは平田にはまだ、アイアイ線が走っているの、アイアイから酒田市内に行くバスは月・水・金曜日運行だが一日往復4～5便はあるはずである。

○佐藤正一委員

砂越に住んでいる人も小林に住んでいる人も、ちゃんと自宅まで迎えに来てくれるのか。

○佐藤支所長

登録しているご自宅まで迎えに行く。ただし乗り合いなので、申し込んだ日時に3人申込があれば乗り合いとなり、目的地到着時間が少し変わる可能性もある。

○佐藤正一委員

動いているタクシーは何台もあるのか。

○佐藤支所長

例えば10人位の申し込みがあった時はタクシー3台位を使って回すようだ。

■事務連絡

▶車賃の支払いの事務連絡

7. 閉 会

▶丸山清副会長閉会